

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年10月7日（月）

2 確認箇所

- ・ 伐採木一時保管エリアG
- ・ 1 / 2号機共用排気筒（1 / 2号機開閉所前等から確認）

3 確認項目

- （1）伐採木一時保管エリアGの状況
- （2）1 / 2号機共用排気筒の解体工事の進捗状況

4 確認結果の概要

（1）伐採木一時保管エリアGの状況について

伐採木一時保管エリアでは、積み上げ高さの制限（5 m未満）や内部温度の監視[※]等の維持管理を行っており、本日は伐採木一時保管エリアGの維持管理状況の確認を行った。

なお、当該エリアでは、道路を挟んで東側に破砕してチップ化した伐採木を地下式の一時保管槽で保管しており、西側に伐採木（幹、抜根）を積み上げて保管している。

※ 一般的に表層から1 m程度の深さで摂氏 60℃以下であれば、火災の可能性は低いとされている。

○東側の保管場所

- ・ 内部の温度は、約 20℃から約 40℃であり、異常な高温を示す箇所はなかった。（写真1）
- ・ 火災対策のため、保管場所の数箇所に消火器が設置されていた。（写真2）
- ・ 空の保管槽が6槽確保されていた。（写真3）
- ・ 確認した範囲では、シートの剥離等は見られなかった。

○西側の保管場所

- ・ 積み上げ高さは5 m未満を満足した状態で保管されていた。（写真4）
- ・ 抜根が保管されている場所は約10 m間隔で温度計が設置されており、どの温度計も20℃前後であり、異常な高温を示す箇所はなかった。（写真5）
- ・ 幹が保管されているエリアには1箇所温度計が設置されており、温度は抜根と同等の値であった。（写真6）

- ・ 確認した範囲では、積み上げた伐採木の崩落等は見られなかった。

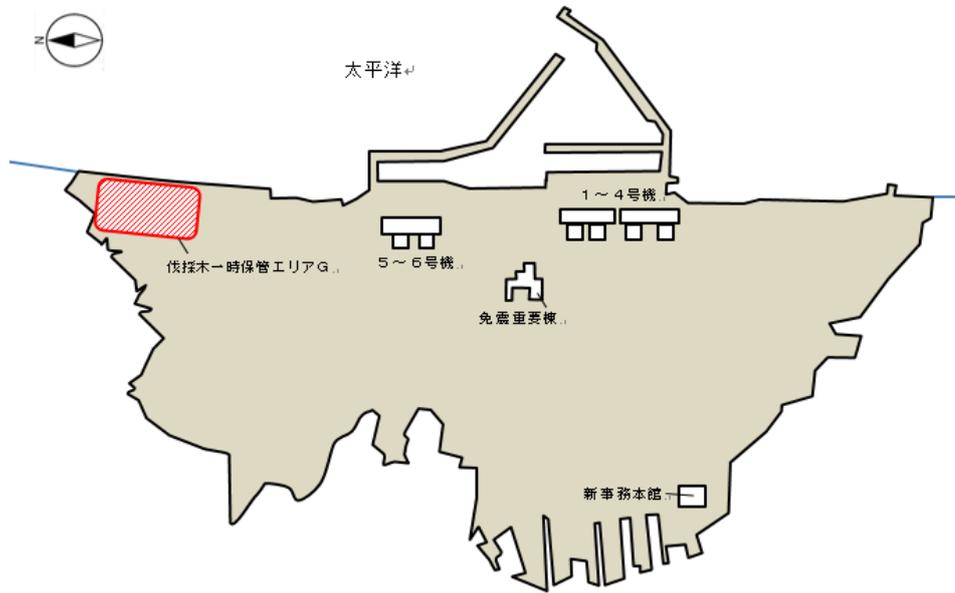


図1 伐採木一時保管エリアG概略図



(写真1-1)
木くずチップの内部温度監視状況



(写真1-2)
写真1-1の赤丸部分拡大
指示値は19.5℃



(写真2)



(写真3)

空の保管槽の状況
同じものが全部で6槽ある



(写真4-1)

伐採木(抜根)保管状況



(写真4-2)

伐採木(幹)保管状況



(写真5-1)
伐採木(抜根)の内部温度監視状況



(写真5-2)
写真5-1の温度計拡大



(写真6-1)
伐採木(幹)の内部温度監視状況

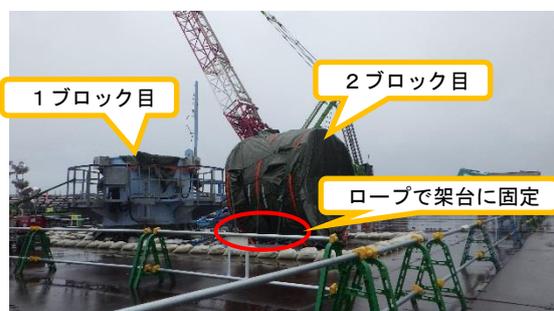


(写真6-2)
写真6-1の温度計拡大

(2) 1 / 2号機共用排気筒の解体工事の進捗状況について

1 / 2号機共用排気筒の解体工事については、9月26日に2ブロック目の解体が終了し、本日から3ブロック目の解体工事が開始されたことから、状況を確認した。なお、解体した2ブロック目は海側の小割ヤードに仮置きされていた。(写真7)

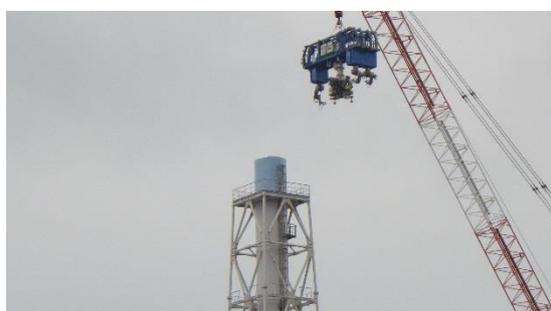
- ・現場確認時には、解体装置が地上から排気筒頂部に吊り上げられており、解体工事に向けての準備が行われていた。（写真8）
- ・解体装置吊り上げ時には装置架台周辺及び1／2号機開閉所前で数名の作業員が現場の状況を確認していた。（写真9）



（写真7-1）
2ブロック目の仮置き状況
ロープで架台に固定した状態で横倒しにされ、シートで養生されて仮置きされていた



（写真7-2）
2ブロック目の仮置き状況
架台に固縛されている。



（写真8）
解体装置吊り上げの状況
12時10分頃撮影



（写真9）
現場確認の状況（装置架台周辺）

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。